

報道関係者各位
プレスリリース

2018年8月16日
株式会社シーディーネットワークス・ジャパン

「2018年第1四半期 DDoS 攻撃の動向と今後の見通し」

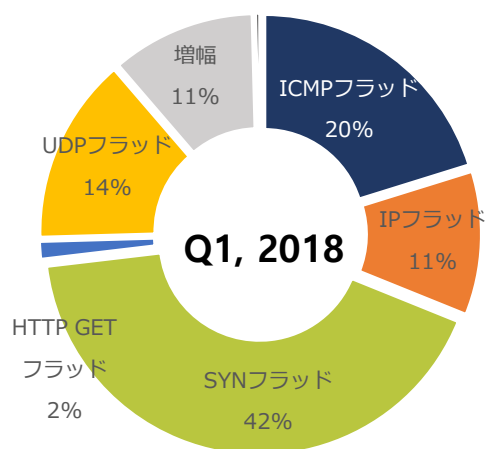
CDNetworks セキュリティレポートを公開

－ Memcached の脆弱性を利用した大規模 DDoS 攻撃が大量発生し話題に－

グローバル CDN サービスプロバイダの株式会社シーディーネットワークス・ジャパン（東京都新宿区、以下 CDNetworks）は、2018年第1四半期の DDoS 攻撃の対応状況をまとめ、分析したセキュリティレポート「2018年第1四半期 DDoS 攻撃の動向と今後の見通し」（以下 本資料）を本日発表いたしました。

本資料は、CDNetworks の DDoS 防御対策サービス「クラウド・セキュリティ DDoS」を提供している国内外のお客さまを対象に、2018年第1四半期（1月～3月）に収集した様々な DDoS 攻撃パターンとトレンドを分析しています。また、防御がとても難しいと言われているブラウザベースのボットによる HTTP DDoS 攻撃に対する全般的な対処方法についても説明しています。

2018年第1四半期は、TCP プロトコルを利用した攻撃である SYN フラッド(42%)が最も多く、次いでネットワーク帯域幅を枯渇させる ICMP フラッド(20%)や UDP フラッド(14%)攻撃が多く見られました。



特に Memcached の脆弱性を利用した UDP ベースの大規模な DDoS 攻撃の大量発生は、新種の脆弱性の公開後はすぐに大きな話題となり、攻撃者のターゲットになる危険性が高いことを改めて知らされました。

また、依然としてセキュリティが甘い膨大な数の一般家庭用のルーターや IP カメラといった IoT 機器を悪用した DDoS 攻撃が蔓延しており、この状況はしばらく続くことが予想されます。

<図> 2018年第1四半期 DDoS 攻撃タイプ

目次（一部抜粋）：

1. 2018 年第 1 四半期 DDoS 攻撃の動向レポート／プロトコル別、タイプ別、地域別など
2. 2018 年第 1 四半期 DDoS 攻撃の動向のまとめ
3. ブラウザベースのボットによる HTTP DDoS 攻撃の再考

「2018 年第 1 四半期 DDoS 攻撃の動向と今後の見通し」レポート」の完全版

<https://www.cdnetworks.co.jp/data/whitepaper.html#wp-32>

「クラウド・セキュリティ DDoS」のサービス概要

https://www.cdnetworks.co.jp/service/cloud_security_ddos.html

CDNetworks は、引き続きグローバル規模のセキュリティ脅威に対抗しつつ、2018 年度も引き続き新種を含むあらゆる攻撃に耐える DDoS 攻撃防御サービスをお客様に提供して参ります。

以上

About CDNetworks

CDNetworks は、CDN（コンテンツ・デリバリー・ネットワーク）プロバイダとして、グローバルリーチに優れ、豊富なキャパシティをベースに大規模に展開する CDN プラットフォームにおいて日々 40,000 以上の Web を高速化しています。また、CDN プラットフォームと統合されたクラウドベースの Web セキュリティサービスはあらゆるタイプの攻撃を検知・ブロックして企業の Web ビジネスを保護し強固なセキュリティ基盤の構築をサポートしています。CDNetworks は独自開発の高い技術力と柔軟できめ細やかなサービス力で、エンタープライズ・アドテク・ソフトウェア・e コマース・ハイテク・メディアおよびゲームなど幅広い業界のお客様へサービスを提供しています。中国や東南アジア、そしてインド、中東、ロシア、アフリカ、中南米などの新興市場においても自社拠点（PoP）によって企業のグローバルな配信をサポートしている、唯一の、そしてアジア最大級のグローバル企業です。2000 年に設立された CDNetworks は、日本・韓国・中国・シンガポール・イギリス、ドイツ、そしてアメリカにオフィスを構えています。詳細については、<https://www.cdnetworks.co.jp> をご覧ください。

[本件に関するお問い合わせ先]

株式会社シーディーネットワークス・ジャパン マーケティング担当 増山慈子

TEL: 03-5909-3373 Mail: marketing@cdnetworks.co.jp